

# 飯山地区 MIZBE ステーションについて

飯山市 道路河川課

## 前 文

「MIZBE(みずべ)ステーション」とは、洪水時における緊急復旧活動等の拠点となる水防拠点(河川防災ステーション)の機能に加え、賑わい創出や地域活性化に資する機能を備えた施設です。

### (1) 計画対象地

MIZBE ステーションを整備するにあたり、「アクセスのしやすさ」、「地域の連携」、「滞在のしやすさ」が立地のポイントです。

道の駅周辺には、農産物直売所やレストラン、アウトドア商品の店舗やビジターセンターが完備され、人々で賑わっています。

また、日本風景街道に指定されたこのエリアには、桜堤やフラワーロードが、河川敷には菜の花畑が整備され、春には、桜や菜の花が辺り一帯に咲き誇ります。残雪が残る周囲の山並みも、美しい春の風景に彩を添えます。

さらに、千曲川の河岸には、かわまちづくり事業 ※ の一環としてポートが整備され、近年、カヌーや SUP、ゴムボートによる川下りを楽しむ人々や、地域の子ども達による川下り体験で賑わいを見せています。

道の駅周辺は、既存の道の駅エリアや、ポート周辺の水辺エリアと MIZBE ステーションエリアとの連携により、さらなる賑い創出により、地域の活性化を図ることが期待できるエリアと言えます。

そのようなことから、MIZBE ステーションの位置を、道の駅「花の駅 千曲川」に隣接した位置とします。



図 飯山地区 MIZBE ステーション計画地

※ かわまちづくり事業（千曲川北信5市町かわまちづくり）  
千曲川北信地域の長野市、須坂市、中野市、飯山市、小布施町の5市町では、広域観光ルートの構築、地域の歴史・文化の伝承、未来へ繋げる関係人口の育成等により、広域観光の推進と地域活性化に取り組んでいます。

## (2) 上位計画との整理

本基本方針の上位計画等である「飯山市第6次総合計画」及び「飯山市第3次国土利用計画」での飯山地区MIZBEステーションの利活用の方向性を導出します。

### ○ 飯山市第6次総合計画(2023年～2032年)

本計画では、「基本目標1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち」、「基本目標5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち」で次のように示されています。

<基本目標1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち>

- 千曲川流域の市町村・国・県・各種団体・企業と連携し、千曲川を活かした地域の賑わい創出を図ります。(広域観光の推進)
- 美しい自然環境・アウトドアスポーツ・文化・芸術・歴史・伝統・風土・風習等を最大限活用し、観光振興を図るとともに、本市の魅力を世界へ発信しインバウンドを呼び込みます。(魅力ある観光プログラムの構築)
- 農業と観光の拠点施設である道の駅「花の駅 千曲川」の整備・拡充を進めるとともに民間事業者や各種団体と連携し、更なる魅力向上を図ります。(観光資源の磨き上げ)

<基本目標5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち>

- 令和元年東日本台風災害を教訓に、雨水排水関連施設や河川等の整備、千曲川緊急治水対策プロジェクトと連携した治水事業を推進するほか、山林の安全性を高め、災害に強いまちづくりを進めます。(防災減災対策の推進)

### ○ 飯山市第3次国土利用計画(2023年～2032年)

本計画では、利用区分別の市土利用の基本方向「4. 水面・河川・水路」で次のように示されています。

<基本目標1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち>

- 水面・河川・水路については、豪雨災害に備え、千曲川及びその支流の総合的な治水対策の推進、砂防施設の整備による総合的な防災・減災対策を進めます。また、豊かな水辺環境を活かしたレクリエーション活動等に活用できるオープンスペースや緑地空間を千曲川河川敷付近等に確保し、親水性の向上や、災害時・積雪時に活用する空間等としての多目的利用を図ります。

### (3) MIZBE ステーションに必要な施設

非常時	平常時
<p>非常時は水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 緊急復旧用資材備蓄基地</li><li>② 災害対策車両基地</li><li>③ 車両交換場所</li><li>④ ヘリポート</li><li>⑤ 洪水時の現地対策本部</li><li>⑥ 水防団の待機場所</li><li>⑦ 水防倉庫</li><li>⑧ 一般住民の避難場所</li></ul>	<p>平常時は備蓄土砂の上面をレクリエーション施設として利活用されることで、隣接する道の駅等と一体となって地域活性化や賑わいの創出が期待されています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 地域活性化や賑わいの創出としての活用</li><li>② 水防活動の訓練</li><li>③ 河川防災学習施設</li><li>④ 川の情報発信施設</li></ul>

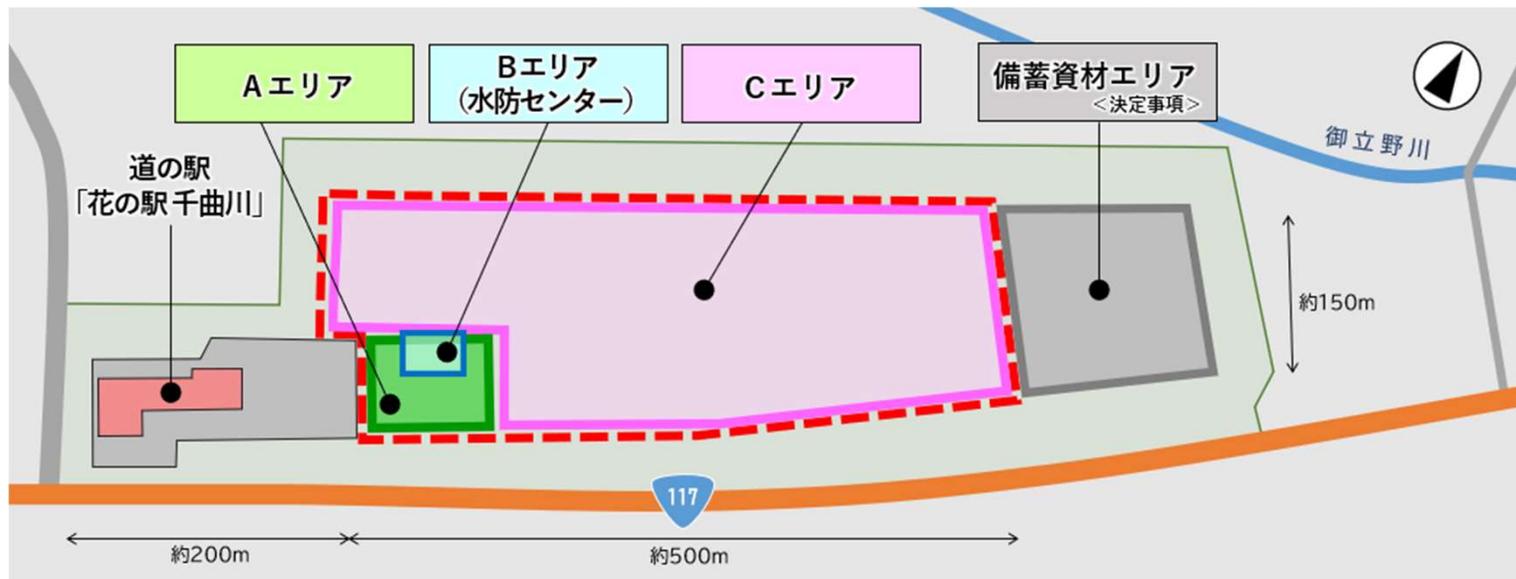
### 参 考

- MIZBE ステーション活用事例集  
(令和5年3月 国土交通省水管理・国土保全局)  
[https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet\\_jirei/index.html](https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/index.html)



# 飯山地区MIZBEステーションの概要

飯山地区MIZBEステーションは、道の駅「花の駅 千曲川」、及び「かわまちづくり」と相互に補完できる機能や役割を連携し、防災拠点とアウトドアアクティビティやレクリエーション活動拠点の複合機能として、両方の利用に相応しい環境整備及び運営体制を構築するものとします。



今回、利活用のアイデアを募集する範囲

整備名称	内容	所有者	管理者
Aエリア	非常時と平常時、両時における利活用(屋外)についてアイデアを募集します。 ○ 多くの人々が集い、レクリエーションを通じて、生きがいを持てる施設を整備する。	市	市・他
Bエリア (水防センター)	非常時と平常時、両時における利活用(屋内)についてアイデアを募集します。 ○ 地域住民やビジターの一時避難箇所としての機能を設ける。 ○ 災害援助隊の拠点、一時避難所を備える平常時に水防学習と情報発信、アウトドアアクティビティや自然環境の屋内学習体験、会議等ができる機能を持つ複合施設とする。	市	市・他
Cエリア	非常時と平常時、両時における利活用(屋外)についてアイデアを募集します。 なお、非常時は、決壊箇所等の復旧に必要な土砂として掘削されるため、建築物やコンクリートなどの恒久的なものは、原則として、設置できません。 ○ 地域住民やビジターの一時避難箇所としての機能を設ける。 ○ 上面などの屋外スペースは、アウトドアアクティビティ体験やイベントが開催できる広場等を整備する。	国	国・市・他
備蓄資材エリア <決定事項>	国及び市が連携し、千曲川の洪水被害を最小限に食い止めるために、迅速かつ円滑な水防・復旧活動を行う拠点となるエリア (ハリポート、根固めブロック、割栗石、建設機械作業スペースなど)	国	国